



佳作

大きくなあれ

わたしのカイコ

新池谷 悠

へいせい二十五年七月、わたしは、しょうがいぐしゅうセンターでカイコをもらいました。そのカイコは、ぐんま200、れもん、くろしま、とらこの四しゆるいでした。さわってみると、ふわふわしていてかわいかったです。カイコは、糸を出して、まゆを作りました。とらこは、黄色のまゆを作り、ほかのカイコは白いまゆを作りました。

八月四日の朝、まゆからせい虫がでてきました。れもんたくろしまの二ひきは、おしりをくつつけていました。その日の夜、れもんが黄色のたまごを百こぐらい

うみました。一この大きさは、一ミリぐらいです。八月六日、たまごがちゃ色になりました。八月七日、たまごがねずみ色にかわりました。八月八日、れもんがしんでしまいました。八月九日、くろしまもしんでしまいました。ぐんま200とらこは、まゆから出てきませんでした。たまごは春になって、よう虫が生まれてくるといいな、と思いました。

ふゆの間、カイコのたまごは、ダンボールのはこに入れて、いまにおきました。

へいせい二十六年四月、わたしは二年生になりました。四月十九日、わたしは、たまごのはこを見てみました。小さな黒いよう虫がたくさんいました。わたしは、びっくりしました。くわのはがなかったので、カイコのはくぶつかん「きぬのさと」にもっていき、そうだんしました。

きぬのさとのおじさんは、カイコには、びりゅうしびようがあつて、むかしは、きよかがないと、たまごからよう虫にしては、いけなかったことをおしえてくれま

した。でも、わたしのカイコは、すこし弱っているけれど、そだててくれると言ってくれました。

四月二十一日、わたしは、カイコのためにうえきばちに入ったくわの木を、かってもらいました。もうすぐわたしのたんじょう日なので、くわの木はたんじょう日のプレゼントにしました。

四月二十六日、きぬのさとにカイコを見にいきました。カイコは、二回だっぴをして、三れいになっていました。生まれた時は、三ミリだったのが、二センチまで大きくなっていました。わたしは、元気になっていてよかったです。おじさんは、「もって帰ってもいいよ。」と、言ってくれました。いえで、じんこうしりょうでそだてることにしました。

四月二十八日、二とうのカイコに、くわのはをあげてみました。少しすると、カイコは、くわのはを食べていました。くわのはのほうがじんこうしりょうより、おいしそうに食べているように見えました。

五月一日、カイコはみんなになりました。みんなの時は、

ふくきやくから上のぶぶんを上げて、じっとしていました。えさは、食べません。四れいになると、長さが二・五センチになりました。黒白のしまもようがはっきりしてきました。

メスのれもんとオスのくろしまの子どもだったけれど、ぜんぶくろしまのすがたをしていました。

五月七日、カイコはみんなになり、八日には、五れいになりました。じんこうしりょうやくわのはをたくさん食べるようになりました。じんこうしりょうでそだてたカイコのフンは、くわのはでそだてたカイコのフンよりべタバタしていました。

五月十五日、五とうのカイコは、まゆを作りはじめました。

きぬのさとのおじさんは、カイコをせい虫にしないほうがいいと、言っていました。れいとうしつに入れる方ほうをおしえてくれました。わたしは、「かわいそうだな。」と思いました。でも、たまごがうまれるとこまるので、れいとうしつに入れることにしました。

五月十六日、わたしの八さいのたん生日にも、カイコがまゆを作りました。たん生日に作ったまゆは、二こだけいいとうしつに入らずに、そだてることにしました。

五月三十日、まゆからせい虫が二ひき出てきました。メスとオスだったので、けっこんして、たまごをうんでしまいました。

夏休みに、きぬのさとで、カイコをもらってそだてることにしました。春にカイコをそだてた時、三ミリぐらいしかなかった小さなカイコがどんどん大きくなるのをふしぎにかんじました。だから、カイコがどれだけ大きくなるのかをしらべてみようと思いました。

七月二十一日、四れいのカイコをもらいました。黄色のまゆを作るカイコも、三とうももらいました。白色のまゆを作るカイコ九とうが、どれだけ大きくなるかをしらべることにしました。そのために、毎日、おなじ時間にカイコの長さとおもさはかり、そのへいきんを出しました。フンの数も数えました。

二十一日、じんこうしりょうをあげると、口をもぐも

ぐさせて、食べていました。フンをする時は、おしりの上にもち上げてしていました。フンの太さは一ミリ、長さは二ミリでした。カイコの長さは三センチ三ミリ、おもさは〇・八グラムでした。

七月二十二日、カイコは、えさを食べずに、うごかない時もあります。その時は、頭を一センチぐらい上げて、じっとしていました。カイコの長さは三センチ六ミリ、おもさは、〇・九グラム。フンの数は、六十二こでした。

七月二十三日、カイコがよていより二日ぐらい早く四みんに入りました。朝からずっとふくきやくから上のぶぶんを上げていました。えさをあげても、一口も食べませんでした。フンは、五こしかませんでした。

七月二十四日、午前七時、八とうのカイコは、だっぴがおわっていました。カイコのちかくに、だっぴのかわがありました。足もだっぴをしていました。頭は、からだとはべつに、だっぴをしていました。

一とうだけ、色が白いカイコがいたので、まだだっ

びをしていないのかな、と思いました。わたしは、か
んさつをすることにしました。白いカイコは、光ってい
ました。午前八時五十四分、カイコがからだにしわをよ
せて、こきゅうをしているみたいに、かわをうごかして
いました。九時四十分には、頭のだっぴをしました。つぎ
に、むねの上のぶぶんからかわをぬいで、九時五十三分
にだっぴがおわりました。おわった後の色は、黄色でし
た。頭を下げて、じっとしていました。えさは、食べま
せん。夜になると、えさを食べていました。カイコの長
さは四センチ三ミリ、おもさは一・七グラム。フンの数
は二十一こでした。

七月二十五日、五れいになりました。カイコは、だっ
ぴした後、すぐにさわるとかわがやぶれて、しぬことも
あることがわかりました。新しいかわがかたくなると、
えさを食べはじめます。カイコの長さは五センチ二ミ
リ、おもさは二・四グラム。フンの数は、六十五こでし
た。

七月二十六日、えさをとてもたくさん食べていまし

た。フンも大きくなりました。太さが二ミリ、長さが
四ミリになりました。フンは、よこから見ると、お花の
もようにみえました。カイコの長さは六センチ、おもさ
は、三・三グラム。フンの数は八十八こでした。

七月二十七日、カイコの長さは七センチ、おもさは五
グラム。フンの数は百二こでした。

七月二十八日、カイコは少し糸を出しはじめました。
カイコの長さは七センチ二ミリ、おもさは五・六グラ
ム。フンの数は九十一こでした。

七月二十九日、二とうがまゆを作りはじめました。ま
ゆを作る前に、白いフンとおしっこをしていました。カ
イコは糸を出すと、長さがちぢみました。カイコの長
さは七センチ六ミリ、おもさは六グラム。フンの数は
六十六こでした。

七月三十日、きのうの夜まゆを作りはじめたカイコ
は、朝見ると、うすい丸い形になっていました。中のカ
イコは、うごいているのがまだ見えました。頭をたくさ
んうごかしていました。夕方には、すがたが見えなくな

りました。カイコの長さは七センチ三ミリ、おもさは六グラム。フンの数は四十六こでした。九とうのカイコの長さのへいきんは、ずっと長くなっていったけれど、今日は三ミリみじかくなりました。まゆを作る前には、カイコは、長さがみじかくなるのが分かりました。

七月三十一日、七とうのカイコがえさを食べなくなりしました。カイコは、まゆを作る前には、はこからにげ出すことがあります。わたしは、まゆを作ることをほかのカイコに、じゃまされないように、カイコはにげ出すのだと思いました。カイコが作ったまゆの長さは、三センチ九ミリ。フンは白いフンで、一こだけでした。

八月一日、きのうの午後三時にまゆを作りはじめたカイコは、この日の朝、うすいまゆを作っていました。午後二時には、すがたがほとんど見えなくなりました。カイコは、およそ一日でまゆを作ることが分かりました。まゆのまわりにも糸があり、うごかないようになっていました。

この日の夜、七月二十九日にまゆを作ったカイコのみ

ゆを切ってみました。まだよう虫のすがたのカイコがいました。ほとんどうごきませんでした。わたしは、とてもかわいいな、と思いました。

八月二日、きのうの夜は、よう虫のすがただったけれど、午前七時に見ると、サナギになっていました。色は、黄色でした。だっぴした後のかわがありました。わたしは、よう虫からサナギにだっぴをするようすが見えたかったです。夜になると、サナギはちゃ色っぽくなりました。

八月三日、サナギになったカイコをまゆからとり出して、紙の上で、かんさつすることにしました。サナギは、時どきおしりをぴくぴくとうごかすことがあります。わたしは、うごきがかわいいと、思いました。サナギの長さは、三センチでした。

八月六日から八月九日の間は、りよ行のため家にいなかったのです。カイコのかんさつはできませんでした。

八月九日の夜、家に帰ってくると、サナギが黒くなっていました。まん中のぶぶんごとくに黒かったです。

八月十日、サナギのおなかをさわると、おしりをびくびくとごかせていました。

八月十一日の朝、サナギがせい虫になりました。オレンジ色のえきを出していました。わたしは、まゆをとかすためのえきかな、と思いました。せい虫は、羽をかわかしていました。夜になると、少しうごきはじめました。せい虫の長さは、二センチ五ミリでした。

八月十六日、二ひきがせい虫になりました。二ひきはメスでした。先にせい虫になっていたオスと、おしりをくっつけていました。

八月十七日、メス一ひきがたまごをうみました。たまごの色は、黄色でした。オスは、ときどき羽をパタパタうごかせていました。

八月十八日、たまごの色がうすいちや色にかわりました。たまごは、とてもたくさんあります。

八月二十日、たまごの色が黒色にかわりました。

わたしは、夏休みのじゆうけんきゆうに、四れいからせい虫のカイコのせい長のきろくを書きました。けん

きゆうをしてみても、カイコについて、今までよりたくさんのが分かりました。

フンについては、五れいになってから三日間、数がふえていました。フンの数は、一番おおい時には、百二こもしていました。フンは、一この大きさも大きくなりました。四れいの時のフンの大きさは、太さ一ミリ長さ二ミリだったのが、五れいになると、太さ二ミリ長さ四五ミリになりました。まゆを作る前にするフンは、白色で、一〜二こでした。

長さについては、カイコは五れいになってから五日の間、長くなっていききました。四れいのさい後は、三センチ六ミリだったのが、七センチ六ミリまで大きくなりました。一番のびた時は、一日に一センチも長くなりました。まゆを作る前は、カイコは少しみじかくなりました。サナギの時は、長さ三センチ、せい虫の時は、長さ二センチ五ミリでした。

おもさについては、カイコは五れいになってから五日の間、おもくなっていきました。四れいのさい後は、

○・九グラムだったのが、五れいのさい後には六グラムまでふえました。一番ふえた時は、一日に一・七グラムふえました。まゆを作る前、長さはみじかくなかったけれど、おもさはかわりませんでした。

わたしは、カイコが大きくなるのは分かっていたけれど、一日で一センチも大きくなることはしりませんでした。フンも一日で、百こもするとは、思いませんでした。フンを数えることは、大へんでした。

カイコは、だっぴやサナギからせい虫になる時、夜にすることがおおかったです。だから、わたしはそのようすをあまり見ることができませんでした。来年は、夜もずっとおきて、サナギからせい虫になるようすをかんさつしてみたいです。